

中村敦子メゾソプラノ・リサイタル

Atsuko Nakamura Mezzosoprano Recital

2019年10月1日[火] 18時開場 18時30分開演

宮城野区文化センター パトナホール

一般¥2,500 学生¥1,500 全自由席

後援 * (公)宮城県芸術協会 / むさしの会同窓会 / (株)ヤマハミュージックリテイリング 仙台店 / カワイ仙台
河北新報社 / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / TBC東北放送 / (公)仙台市市民文化事業団
プレイガイド * (株)ヤマハミュージックリテイリング 仙台店 / カワイ仙台 / 仙台三越 / 藤崎 / 宮城野区文化センター
お問い合わせ・マネージメント * マーベラス・スタジオ labmama11@ybb.ne.jp 090-2973-7958



Special Guest

宮里直樹

Naoki Miyasato * tenor
テノール
from 東京二期会



原田園美

Soumi Harada * piano
ピアノ



茅根利安

Toshiyasu Chinone * narration
ナレーション

* 監修 *

田手道子 / 平田典之



Program

* モーツァルト *

オペラ「フィガロの結婚」より
'恋とはどんなものかしら'

* ベッリーニ *

オペラ「カプレーティとモンテッキ」より
'ああ! 天国に昇る清い魂よ'

* ヴェルディ *

オペラ「リゴレット」より
'女心の歌'

* ビゼー *

オペラ「カルメン」より
'ハバナラ' 'セギディーリヤ' '花の歌'
終幕の二重唱 'あんたね? 俺だ!'

ほか

中村敦子メゾソプラノ・リサイタル

Atsuko Nakamura Mezzosoprano Recital

Artist's Profile

中村敦子 メゾソプラノ

Atsuko Nakamura * mezzosoprano

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。姉齒けい子、砂原美智子、田手道子、平田典之の各氏に師事。また、ジュリアーノ・チャンネッラ、ダビデ・チャバレッラ各氏による特別レッスン、フィオレンツァ・コッソットの公開レッスンを受講し、研鑽を積む。1986年～2007年まで仙台オペラ協会に所属、「カルメン」(カルメン)、「カプレッティ・モンテッキ」(ロメオ)、「コジ・ファン・トゥッテ」(ドラベッラ)、「蝶々夫人」(スズキ)、「フィガロの結婚」(ケルビーノ)等の要役にて多数出演。また、オペラネットワーク仙台主催「蝶々夫人」(スズキ)、「椿姫」(フローラ)等に出演。2011年、黒川郡大和町にて「たいわっこ芸術鑑賞会」の「フィガロの結婚」の企画・制作に携わり、ケルビーノ役でも出演。他にベートーヴェン作曲「第9」のソリストや各種コンサートに多数出演。現在は、田手道子氏・平田典之監修「グルッポ・ゼッフィロ」にて、オペラコンサートに出演し、仙台を中心に音楽活動を繰り広げている。第6回JIRA音楽コンクール声楽部門第2位。2009年、リサイタルを開催。宮城県芸術協会会員。

Special Guest

宮里直樹 テノール

Naoki Miyasato * tenor

東京藝術大学声楽科首席卒業。同大学院修了。2014年度明治安田QOL文化財団奨学生。RMF奨学生。ウィーン国立音楽大学オペラ科にて2年間学ぶ。声楽を多田羅迪夫、ラルフ・デーリングの各氏に師事。これまでに小林研一郎、尾高忠明など著名指揮者のもとNHK交響楽団を始め、国内主要オーケストラと共演。オペラでは《トスカ》カヴァラドッシ、《椿姫》アルフレード役に出演。ウィーン留学中に《ランスへの旅》リーベンスコフ伯爵、《ファルスタッフ》フェントン役に出演。2016年4月藤原歌劇団公演オペラ《愛の妙薬》ネモリーノにて好評を得る。2017年6月には日生劇場に《ラ・ボエーム》ロドルフォ役でデビュー、10月に二期会公演《蝶々夫人》ピンカートン役で二期会デビューし大好評を博す。その他にもベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシーニ「スターバト・マーテル」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、マーラー交響曲第八番「千人の交響曲」等多くの宗教曲やコンサートで活躍している。今後も国内外のコンサートに多数出演が決まっている新進気鋭の若手テノール歌手である。FM-NHK「リサイタル・ノヴァ」に出演。第23回リッカルド・ザンドナーイコンクール第2位。第48回日伊声楽コンクール第1位。五十嵐喜芳賞、歌曲賞受賞。第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)。同時に聴衆賞受賞。その他受賞歴多数。2011年外務省主催の天皇誕生日祝賀会にて国歌独唱。二期会会員。

原田園美 ピアノ Sonomi Harada * piano

群馬県出身。武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第16回ぐんま新人演奏会合格、出演。第19回草津夏期国際音楽アカデミーに群馬県派遣員として参加。1998年ピアノソロリサイタル(群馬県)を行う。第18回練馬文化センター新人演奏会合格、優秀賞受賞。東京ニューシティフィルハーモニックとシューマンピアノ協奏曲を協演等、数々の演奏会に出演。ソロ、アンサンブルピアニストとして活動。2004年渡伊。コレペティウールとして研鑽を積む。IBLA World Competitionにて伴奏優秀賞受賞。2005年スポレート実験歌劇場(伊)アカデミーに首席合格。同劇場にて数々の作品に音楽スタッフとして参加。又2007年よりノルドフィヨルドオペラ(ノルウェー)にも度々音楽スタッフとして参加。現在新国立劇場研修所及び二期会研修所ピアニスト等を務め、他にも様々なプロダクション、コンサートに携わっている。

茅根利安 ナレーション Toshiyasu Chinone * narration

1979年「劇団I.Q150」を旗揚げ、パルテノン多摩小劇場フェスティバル優勝、下北沢演劇祭、愛知県芸術劇場フェスティバルなどを経験する。1999年宮城県芸術選奨新人賞受賞。2011年、東日本大震災を契機に心の復興を芸術面で後押しする「ココロノキンセンアワー」を結成し、「カレー屋の女」(作・佃典彦)をソウル、東京、東北各地で上演、Alice特別賞を受賞する。2014年からは東京の演劇人との共同作業を開始。「ノスタルギガンテス」「ハムレット」(Tama +project)や「言葉の海へ」(作・高田宏作、演出・笠井賢一)を上演し、東京と東北を結んでいる。宮澤賢治の語り芝居シリーズ「ゼロ弾きのゴーシュ」(仙台フィル・チェロ奏者、山本純氏とのコラボ)や「よだかの星」(シンセサイザー奏者、只野展也氏とのコラボ)も再演を続けている。2018年9月には、仙台オペラ協会「メリー・ウィドウ」にニュエグシュ役で出演。12月には劇団仙台ミュージカルシアターの総合監修として、舞台を制作している。また、「奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊」(仙台市)、「HAPPYふくしま隊」(福島県)のプロデュースやヒューマンアカデミー仙台校講師として俳優の育成に力を入れている。

田手道子 監修 Michiko Tade * soprano

国立音楽大学声楽科卒業。1979年日伊イタリアコンクール第3位入賞。「蝶々夫人」(蝶々夫人)等、多数のオペラに出演。1991年より3年間イタリアに留学、イタリア各地で公演。帰国後は、公演を主催する一方で後進の指導育成に力を注いでいる。

平田典之 監修 Noriyuki Hirata * baritone

国立音楽大学声楽科卒業。「ラ・ボエーム」(マルチェロ)、「フィガロの結婚」(伯爵)等多数のオペラに出演。1991年より3年間イタリアに留学、サルバトーレ・プーマ氏に師事。イタリア各地で公演。帰国後は、公演を主催する一方で後進の指導育成に力を注いでいる。グルッポノリ主宰。